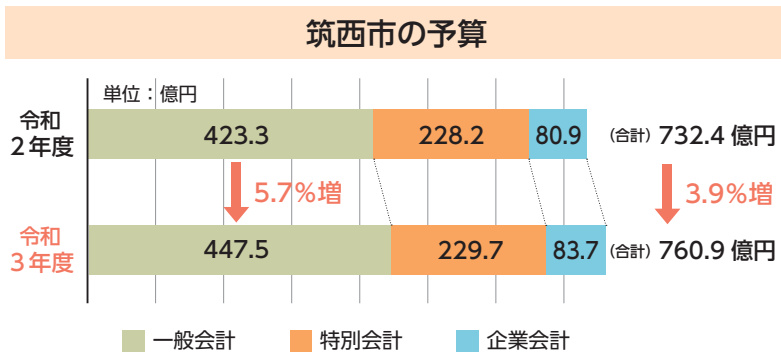


令和3年度予算が議決されました

若者や子育て世代から高齢者まで、切れ目のない支援に取り組んでいきます

筑西市議会第1回定例会（2月24日～3月18日）で審議されていた令和3年度予算が議決されました。

新年度予算は、重点事業などの推進を図る積極的なものとなりました。編成の過程においては、事務事業の徹底的な見直しとともに財源の確保に努めた結果、前年度に比べ基金（一般家庭という貯金）に頼らない予算となりました。



主な重点事業

新型コロナウイルスワクチン接種事業 5億555万2千円

ワクチンの供給が始まりしだい、すみやかに接種が開始できるよう体制を整えとともに、国が示す優先順位に従って接種を実施していきます。



玉戸・一本松線整備事業 5億1,744万3千円

市街地の混雑緩和と安全で安心な交通環境を実現するため、国道50号と294号を連絡する幹線道路を整備していきます。

明野地区義務教育学校整備事業 23億3,611万3千円

明野地区小学校5校と明野中学校を統合し、既存の明野中学校校舎と施設一体型の義務教育学校を整備します。



予算の特徴

重点事業の実施とともに、若者や子育て世代から高齢者まで、切れ目のない支援を行うなど、前年度比で、一般会計5.7%増、全会計合計3.9%増となりました。令和3年度も引き続き健全な財政運営に努め安定した行政サービスを提供します。

そのほか詳しい予算の内容は、本紙5月1日号でお知らせします。

大丈夫なの？筑西市の財政状況

「財政の健全化に関する法律」に基づく4つの財政指標から

実質赤字比率……………黒字決算のため該当しません

一般会計などの赤字額の標準財政規模に対する割合を示します。

連結実質赤字比率…黒字決算のため該当しません

全ての会計の赤字額を合計した額の標準財政規模に対する割合を示します。

実質公債費比率…8.7%

一般会計が負担する借入金の返済額などの標準財政規模に対する割合を示します。

財政の健全化に取り組まなければならない基準である早期健全化基準25%以上、財政再生基準35%以上に該当しません。

将来負担比率…67.5%

一般会計が将来負担すべき実質的な負債から、基金（貯金）など返済に充てることができる財源を控除した数値の標準財政規模に対する割合を示します。

財政の健全化に取り組まなければならない基準である早期健全化基準350%以上に該当しません。

令和元年度
決算データから

いずれの指標も、国が定める財政の早期健全化や再生を図る基準を超えることなく
“健全な状況”を保っています